



吉崎小学校

交流の拠点に



3月は、卒業の季節。
平成28年の3月末、児童の卒業を見送り続けた波松小学校と吉崎小学校が休校となりました。さらに平成29年には、新郷小学校も休校となりました。
学校から聞こえていたにぎやかな声はなくな中、立ち上がったのは地元の方々の声です。

地域に広がるにぎわいの輪



地域住民と市が数年にわたり、学校の利活用について検討を重ね、今年度には、それぞれの活用的一端が見えてきました。
その様子を、中心となっている地域の人の声とともに紹介します。

問合せ 政策課 ☎73-8005

吉崎地区での取り組み

吉崎小学校を拠点に、地域活性化に取り組もうと、昨年の3月に、吉崎地区と浜坂地区の有志による一般社団法人「蓮如の里吉崎」が設立されました。
同年4月には、寺院と関連団体の協力の下、団体初のまち歩きイベント「第1回蓮如さんと吉崎めぐり」が開催され、市内外から29人が参加しました。このイベントでは、団体のメンバーが案内役を務め、寺院や記念館、御山を散策しながら、各所で蓮如上人にまつわる逸話を説明しています。また、昼食には地元住民お手製の報恩講料理が振る舞われ、北潟湖では水上散策を体験してもらおうといった、吉崎を一日楽しむ盛りだくさんのプログラムとなりました。9月と10月にもこのまち歩きイベントは行われ、内容のさらなる向上が図られました。

8月の団体創立記念イベントでは、お寺巡りや記念講演、シンポジウムが行われ、吉崎の新たな可能性について、意見が交わされました。

今年度は、新たなガイドクラブが設立される予定です。また、まち歩きイベントの情報を雑誌「ふくのね」や旅行サイト「じゃらんnet」に掲載するなど、広報活動にも力を入れながら、定期的な開催することとしています。



一般社団法人蓮如の里吉崎
理事長 未富 明さん

吉崎小学校の休校は、これから地域をどうしていくかということを考えるきっかけになりました。学校の使い方ははじめ、いろいろな議論の中で、地域振興を行おうと「蓮如の里吉崎」を立ち上げました。

初めて開催したまち歩きアンケートでは、参加した全てのお客さまから「満足」「再度参加したい」と回答いただき、やって良かったなと思っています。それなりの認知もされ、こちら側も自信を持ちました。今年度は、3月から8月まで毎月2回定期的に開催するため、雑誌「ふくのね」やサイト「じゃらんnet」にも掲載しています。それとは別に、4月26日のGobou市に併せたイベントなど、単発でも実施する予定です。また、法人以外の人も参加できる吉崎全体のガイドクラブの設立も計画しています。

小学校については、ゆくゆくは地域や地域外の人の交流の場にしたとを考えていて、方法を模索しています。他にも、空き家を利用したシェアハウスの運営や対外的なPRのためのホームページ作成など、やりたいことはたくさんあります。中でも一番大きな目標は、毎年蓮如上人の御影が京都から吉崎まで歩いて運ばれるときに通る「蓮如の道」を、日本遺産に登録することです。いろいろなお迎え行事を行っている沿線地域と協力して活動していくことで、日本遺産の登録に持って行けたらと思います。それが、地域活性化につながるのではないかと考えています。